

## SHIRATAKA RED



鮮やかなピンク色に染まったハンカチを広げて笑顔の参加者

オリジナルのハンカチに大満足  
白光園利用者が紅花染めを体験

特別養護老人ホーム白光園（児玉裕継園長）では7月18日～19日の2日間、小松寛幸さん（十王・小松織物工房）を講師に招き、紅花染め体験が行われました。

これは、町内のお年寄りの方にも「日本の紅（あか）をつくる町」に関心を持ってもらおうと同園が企画したもので、各日ともに利用者など約20人が参加。小松さんに丁寧に染め方を教えていただいた参加者は、自分だけのオリジナルのハンカチをきれいに染め上げ、デイサービス利用者の菅原せいさん（畔藤）は「思っていたよりも簡単にきれいに染まった。（ハンカチを）持ち歩いて自慢したい」と満面の笑みを浮かべました。



植樹した桜の前で記念撮影

「花回廊ようざんろーど」をつくる会第16回植樹祭  
桜でつながる人と地域

7月4日、首都圏在住の置賜地域出身者などで組織する『「花回廊ようざんろーど」をつくる会』による桜の植樹祭が旧鷹山小学校で行われました。

この桜は、昨年の秋に同会から町に贈られたもので、エドヒガンやソメイヨシノなど計10本。旧鷹山小学校のホールで神事が行われた後、出席者がくわ入れを行いました。この日はあいにくの雨模様でしたが、会員は「植樹した桜が元気に育っている。これからも会員一同心を一つにして活動していきたい」と晴れやかな表情で話しました。



蒸し暑い中、黙々とゴミを拾う土地改良区の職員たち

地域のきれいを地域の手で——  
土地改良区役職員による推進活動

町土地改良区は6月30日、地域に対する奉仕活動等を自発的に実施し、地域貢献することを目的としたボランティア活動を行いました。

昨年に引き続き2回目の実施となった今活動。この日は役員及び職員の皆さんが、国道287号周辺と隣接する土地改良区水路周辺のゴミ・空き缶拾いを行いました。約1時間で5袋程のゴミ袋がいっぱいになり、加藤嘉郎理事長は「小さな活動でもこれだけのごみを拾うこととなり、それだけ地域がきれいになったものと自負したい。今後も継続することで地域貢献にもつながると思う」と話しました。